

# hitoiki



特集

川辺の  
ひととき。

*Kyoto, Osaka and Tokyo,  
The Cool Place on  
The Riverside.*





# 京都

伝統の床で新旧涼体感。

豊臣秀吉による三条・五条橋の架橋によって変わり始めた、鴨川の河原。その頃から芝居小屋や茶屋が置かれ、芝居見物用の席が設けられるようになる。それが京都・鴨川における納涼床の始まり。後に貴船には、行者をもてなすための小さな腰掛を出していたことに由来する川床が生まれた。どちらも今では伝統的な夏の風物詩となり、毎年5〜9月の間のみに楽しめる風情は、一度は体感する価値がある。





## 貴船 右源太

□住所／京都府京都市左京区鞍馬貴船町76 □電話／075・741・2146 □営業時間／昼11:30~16:00 (L.O.15:00)、夜17:00~20:30 (L.O.19:00) □休業日／無休



数を設ける川床は、座敷の真下を流れる川の瀬音が、訪れる人を癒し、その五感を刺激する。新鮮な川魚などを素材にした〈川床懐石〉は、ここでも、貴船の川床は20℃ほど。暑さが厳しい日でも、心地よく寛いでいただけます。

青々とした木々や清涼な空気を満喫しながら川床料理に舌鼓を打つ。貴船ならではの夏の極上。涼を求めて『京の奥座敷』へと足を運ぶかいがある、とっておきの場所だ。



## 水

の神様として信仰を集める貴船神社の社家（しやけ）を持ち、1962年に料理旅館として開業した『貴船 右源太』。その受け継がれた品格が感じられる設えと供される料理の魅力に

惹かれ、足繁く通う客も少なくない。「貴船は『氣が生ずる根源の地』ともいわれています。心身ともに元気をもらいに来てくださいたいです」と話すのは、本社を統括する佐藤元信さん。貴船川沿いで最大規模の席

自然が織りなす涼やかな風景の中で楽しむ、川床という時間。



右ページ 華簀（はづ）がかかる、木組みでできた川床は、伝統的な造り。

1 やわらかく、ふっくらと身が締まった〈鮎の塩焼き〉。

2 貴船の山間集落の間を流れる貴船川。せせらぎが川床を涼くさせる。

3 コース料理の先附。時季によって内容が替わる。

4 『貴船 右源太』オリジナルビール〈SUIGEN〉を注ぐ仲居さん。

5 本館の玄関の向かいにある、川床の入り口。

Kyoto